

観光社会資本の事例

テーマ	ル・コルビュジェのオリジナルデザインの保存
<p>【施設の状況写真】</p> <div data-bbox="161 389 691 757"></div> <div data-bbox="783 389 1289 757"></div> <p>国立西洋美術館本館は、1959年5月に竣工し、その後、講堂、事務棟、新館などの増築を行っています。設計はフランス人建築家ル・コルビュジェ氏によるもので、建築家の坂倉準三氏、前川國男氏、吉阪隆正氏が日本側の協力者になりました。</p>	
<p>【施設の利用写真】</p> <div data-bbox="177 1016 727 1440"></div> <div data-bbox="786 1016 1374 1440"></div> <p>機能の充実を図るために、レストラン・ミュージアムショップなどの拡張も行われています。</p> <p>各展示室の動線は、交差が生じないような、一方通行の動線を基本としています。</p>	
<p>【観光資源としての利用状況】</p> <p>国立西洋美術館は、JR上野駅に面する上野恩賜公園内に位置しています。</p> <p>建物周囲及び、上野公園内には文化・芸術・教育施設が数多く立地しており、公園および、各施設への利用など多くの市民が集まる場所に立地しています。</p> <p>美術館の前庭は、彫刻広場として開館時間は市民に開放されていて、行き交う人々が気軽に立ち寄ることができます。</p>	

テーマ	ル・コルビュジェのオリジナルデザインの保存
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 国立西洋美術館</p> <p>所在地 東京都台東区上野公園 7 7</p> <p>事業名 美術館整備事業</p> <p>事業主体 国 ((運営)独立行政法人 国立美術館)</p> <p>事業期間 昭和34年(完成)、平成10年(保存活用整備)</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>国立西洋美術館は、モダニズムの建築家ル・コルビュジェによる、インド以東、アメリカ以西において、唯一実現し現存しているプロジェクトです。コルビュジェの美術館建築として代表する作品であり、その後の美術館建設に影響を与える文化的価値の高い施設です。その貴重な作品としてオリジナルデザインの保存を図るため国内初の免震レトロフィット工法に取り組んでいます。上野公園内の景観に配慮した地下部への増築を行って美術館機能の高度化を図りました。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 国立西洋美術館 http://www.nmwa.go.jp/jp/html/</p>	